

なぜ？なぜ？先生

～みんなの不思議～



鬼って
本当にいるの？

みなさんは、「鬼」と聞いてどんなことを思い浮かべますか？ 赤鬼、青鬼、緑の鬼がいて、頭に角があって上半身裸で、大きなからだで、ひげもじゃの顔で、トラの皮のパンツをはいて、力持ちで、太い金棒を振り回して人間を捕まえる怖い鬼を思い浮かべると思います。これは大昔に私たちのご先祖さまたちが自分たちと違う考えや行動をする人たち、自分たちに都合の悪い人たちを「鬼」と呼んで、いじわるをしたことがありました。伝染病や風水害などの災いも「鬼」が持ってくると思えたり、親が子どもに「怖い鬼が子どもを捕まえに来るぞ」と脅すこともありました。昔から続きたくさんの行事や昔話の中で間違った鬼の姿ができてあがりました。

このように、真実でない「鬼」を作り上げる気持ちが私たちにもあるのです。私たち一人ひとりの心の中に、自分勝手な考えや、思い通りにならないとすぐに怒ってしまったり、お友だちに意地悪したくなったり、自分だけが正しいと思ってお友だちの話を聞こうとしないたくさんの「鬼」が住んでいることを忘れないでください。お友だちに優しくする。お友だちを大切にする。いじわるしない。

お友だちの話をよく聞く人の心には「鬼」は住みません。